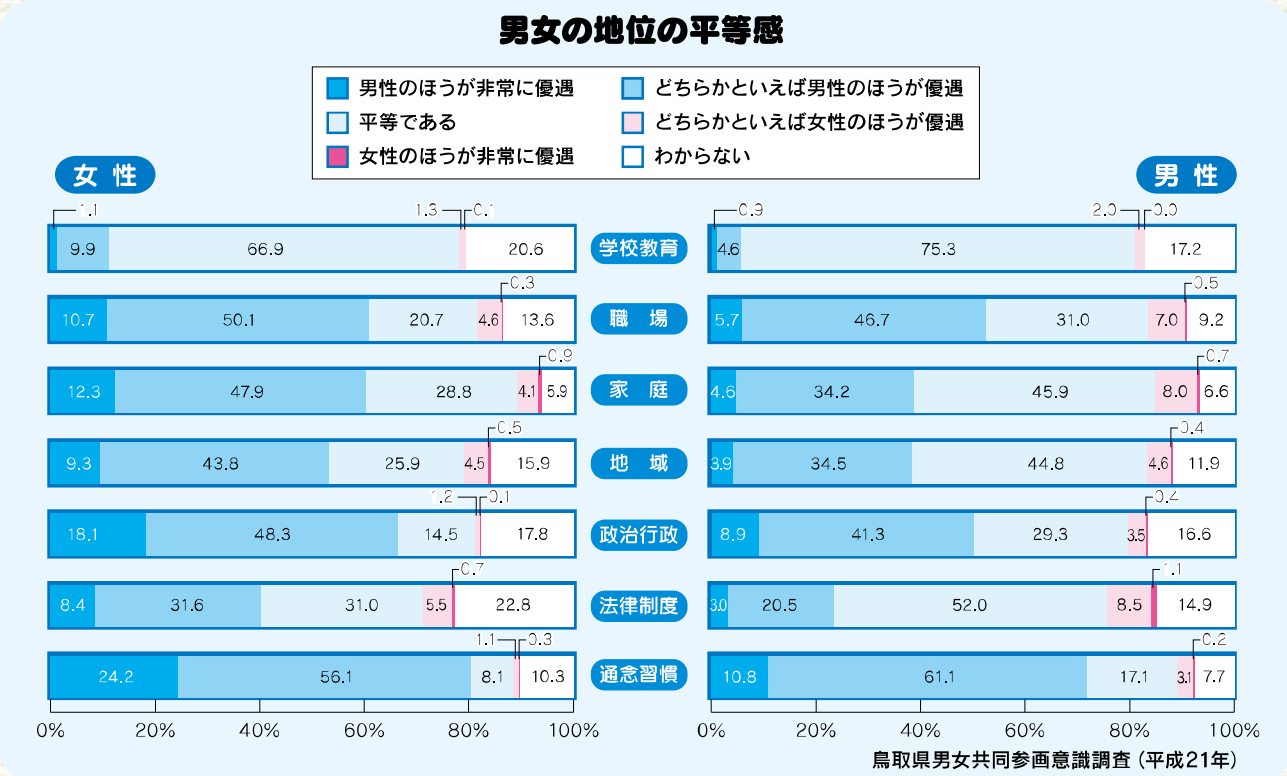


A 男女共同参画の視点に立った社会制度や慣行の見直し、意識の改革

男女共同参画の実現に向けた課題「男性は外で働き、女性は家庭を守る」という固定的性別役割分担意識はいまだに根強く残っており、物事を決める場面への女性の参画はまだ低い実情があります。これを解消するため、男女共同参画の理解を広げる啓発や教育の充実を図り、様々な分野への参画拡大を推進します。

また、男性や子どもにとっての男女共同参画の理解を促進します。



- 重点目標 1** 自治体、企業、団体などで物事を決める場面への男女の参画
- 重点目標 2** 男女共同参画の理解を広げる広報啓発、学習機会の充実
- 重点目標 3** 男性や子どもにとっての男女共同参画
- 重点目標 4** 地域の様々な分野における男女共同参画の推進



| 数 値 目 標 | 計 画 策 定 時 | 目 標 値 |
|-------------------|-------------|-----------|
| 男女共同参画人材バンク登録者数 | 94人 (H23.3) | 300人(H28) |
| 男女共同参画を知っている県民の割合 | 54.1%(H21) | 100%(H26) |
| 子ども会役員における男性の割合 | 22.1%(H22) | 40%(H28) |
| 自治会役員における女性の割合 | 2.7%(H22) | 10%(H28) |